

2025 年度（令和 7 年）

名古屋市立大学大学院芸術工学研究科

博士後期課程 4 月入学（芸術工学専攻）

入 学 試 験 問 題

小 論 文 （ 60 分 ）

【 注 意 事 項 】

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は表紙を含め 2 枚あります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 解答用紙は 1 枚(両面)配布します。
解答用紙には、受験番号、氏名を記入してください。
- 4 この冊子のどのページも切り離してはいけませんが、余白等は適宜利用してもかまいません。
- 5 試験終了後、問題冊子は回収します。問題冊子は持ち帰ってはいけません。

小 論 文

【設問 1】

近年の実験科学において注目されている身体所有感 (**body ownership**) を変調させるラバーハンド錯覚 (**rubber hand illusion**) に関して、

- 1) ラバーハンド錯覚の誘発原理
- 2) 錯覚に伴う身体状態の変化
- 3) 錯覚の強さを評価する手法

を具体的に説明せよ。ただし 2) 3) については複数挙げること。

【設問 2】

実験科学の分野において、自分の左右の手に対して同期的な感覚刺激を与える（または同期的な運動を行う）研究事例を複数挙げるとともに、そうした一連の試みが、身体所有感研究に与える学術的意義について自由に考察せよ。